

令和5年度ふれあい読書研究会

目次

☆委嘱校

☆活動報告

1. 南関町立南関第一小学校P T A 1 ~ 2
2. 南関町立南関中学校P T A 3
3. 山鹿市立八幡小学校P T A 4
4. 山鹿市立菊鹿小学校P T A 5
5. 嘉島町立嘉島中学校P T A 6 ~ 7
6. 嘉島町立嘉島西小学校P T A 8
7. 宇土市立網田小学校P T A 9
8. 宇城市立小野部田小学校P T A 1 0
9. 上天草市立上小学校P T A 1 1
- 1 0. 上天草市立姫戸小学校P T A 1 2
- 1 1. 水俣市立湯出小学校P T A 1 3 ~ 1 4
- 1 2. 芦北町立湯浦小学校P T A 1 5
- 1 3. 水上村立水上学園P T A 1 6

令和5年度ふれあい読書研究会委嘱校

| | ブロック | エリア | 単位PTA名 |
|----|------|----------|----------------|
| 1 | 県北 | 玉名郡 | 南関町立南関第一小学校PTA |
| 2 | | 玉名郡 | 南関町立南関中学校PTA |
| 3 | | 山鹿市 | 山鹿市立八幡小学校PTA |
| 4 | | 山鹿市 | 山鹿市立菊鹿小学校PTA |
| 5 | | 上益城郡 | 嘉島町立嘉島中学校PTA |
| 6 | | 上益城郡 | 嘉島町立嘉島西小学校PTA |
| 7 | 県南 | 宇土市 | 宇土市立網田小学校PTA |
| 8 | | 宇城市・下益城郡 | 宇城市立小野部田小学校PTA |
| 9 | | 上天草市 | 上天草市立上小学校PTA |
| 10 | | 上天草市 | 上天草市立姫戸小学校PTA |
| 11 | | 水俣市 | 水俣市立湯出小学校PTA |
| 12 | | 葦北郡 | 芦北町立湯浦小学校PTA |
| 13 | | 球磨郡 | 水上村立水上学園PTA |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

単位PTA名（ 南関町立南関第一小学校 ） 児童生徒数（ 128 ）人

1. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- ① 朝の読み聞かせ（毎月第1水曜日 8:35～8:45）
- ② 図書室の環境整備
- ③ ポップ作りのための講師と日程調整
- ④ 児童図書委員との意見交換やポップ作りの実施

◎成果

①について

これまでも、毎月朝の読み聞かせを実施しており、児童が本に親しむ時間になっている。コロナ渦には地域の方の読み聞かせが実施できていなかったが、今年度から地域や朗読会の方の参加を再開した。本だけでなく自作のアイテムを使った読み聞かせをしていただくことで、子どもたちはより楽しい時間を過ごすことができている。

また、ご協力していただいた地域や朗読会の方からも、子どもと接するいい機会となっていること、絵本の素晴らしさや読書のよさを知ってもらおう時間となっているとの感想をいただいた。

別の小学校でも読み聞かせをされている方をお招きすることが多かったので、各小学校での活動についても様々な話を聞く機会になった。

②について

南関第一小学校の司書職員は、町の他校を兼務しており、本の入れ替えやラベル処理が追い付いていない状況であった。今年度、PTAと学校とで検討し、空き教室を書庫として利用することにした。本を置いていたスペースが空いたことで、読書スペースが以前よりも確保され、自然と子どもたちが図書室で読書をするようになった。

また、夏休みにPTA家庭教育委員で本のラベル張りを実施していたところ、図書室開放日に来ていた子どもが手伝ってくれた。作業の大変さを知るきっかけとなり、本を大切に扱うことの重要性を考えてくれるいい時間となった。

これまでは、殺風景な図書室で机も古かったため、『ふれあい読書研修会』の助成金でテーブルクロスを購入し張替えを実施した。テーブルクロス一つで部屋全体が明るいイメージとなり、来室した子どもたちからは「かわいい。」「もっと来たくなった。」「この机で今度、本を読みたい。」などの前向きな感想が聞かれた。

③④について

児童図書委員と一緒にポップ作りをしたり、図書室利用について話をしたりする機会を設けた。これまでは、児童図書委員とPTA家庭教育委員が別々に活動することが多かったが、今回一緒に活動することで、子どもたちが利用したいと思う図書室について意見を聞くことができた。児童図書委員が実施していた「読書ビンゴ」は、分野別や学年別に本をピックアップできる要素が含まれていて、興味がなかった分野の本に触れ合う機会にもなっていると感じた。借りられていない分野はどうしたら次に活かせるかなど、子どもたちのアイデアを聞くことができ、PTA家庭教育委員の活動にとっても有意義な時間となった。

これまでは、学校の限りある材料でポップ作りをしていたが、今回は『ふれあい読書研修会』の助成金でポップ作りの道具や材料を購入することができた。カラフルなポップが完成し、子どもたちは満足感や達成感を感じていたようだった。

◎反省

①について

「10分間という限られた時間の中で読み切る本を探すことに苦勞する」といった声も上がっている。また、子どもに感想を聞く時間がないため、読み手であるボランティアの方も子どもたちの満足度を確認できないという意見もある。

②について

図書室が殺風景であると保護者等からの指摘もあり、さらに温かみのある図書室を目指して整備をする必要性がある。

③について

今年度は、講師との調整がなかなかつかず結局実施することが出来なかった。実施に向けての準備段階では、「限られた時間の中でできることは？対象児童を限定するのか？」などの課題が出てきた。今年度中は解決の糸口を見つけられなかったので、次年度につなげたい。

2. 今後の取り組みについて

- ・実施計画で示した、講師を招いての「ポップ作り」の課題解決に向けて学校と話し合いを重ね実施できるように努める。
- ・読むスペースを確保できたが、机の高さなど学年にあった読書スペースとしてはまだ課題がある。床に畳やマットを敷くなどの工夫をしてより家庭に近い状態で本に親しむことができるよう環境整備を今後も継続して行う。
- ・定期的に本を書庫に移動させ、子どもたちが安全に利用できる環境整備を引き続き行っていく。
- ・「10分間の限られた時間」については、少し余裕のある時間設定ができるよう学校と日程調整の話し合いを実施する。
- ・読み聞かせや親子読書に抵抗のある保護者も多い。月1回の読み聞かせの時間に、保護者の見学もできる機会をホームページやPTA管理のアプリを通して発信して、会でも本に親しむ時間を持ってもらうきっかけ作りをしていきたい。

3. 要望・その他


今回、『ふれあい読書研修会』の報告会等に参加させていただき、他校の取組や活動内容を知ることができる貴重な機会となった。

読み聞かせの奥深さや各地域での特徴ある取組を勉強できたことを、今後の活動に活かしていきたい。また、家で本に親しむことが少なかったため、本の素晴らしさに再度気づかせていただいた。

貴重な体験をありがとうございました。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

| | |
|---|---|
| 単位PTA名 (南関町立南関中学校PTA) | 生徒数 (175) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P 50,000 円 単P 10,000 円 その他 0 円 | (支出) 60,000 円 (本棚作成) |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| ◎活動内容 ・PTA学力向上部の計画により、毎月1回、朝自習の時間(8時15分から8時30分)を5分延長し、地域のボランティアの方々による、読み聞かせを行っている。 ・新書や話題の出版物などが生徒の目につき、生徒が図書室の本に触れ、読書量が増えるように書架台が付いた本棚を設置した。 |  |
| ◎成果 ・地域の方々が来校されることで、生徒は新鮮な気持ちでお話を聞くことができ、読書への意識が高まった。また、地域の方々にも学校の様子を見ていただくことができ、地域との協働ができている。 ・補助金を活用し、地域の方に作成していただいたので、司書の要望に沿った本棚が完成し、生徒が本を手に取り、読書の機会が増えた。 | |
| ◎反省 ・読み聞かせは教室で行っており、感染対策も行わなければならない、読まれる方の位置や聞く生徒の座席の工夫が必要である。 ・絵本等を読まれる方もおられるので、書画カメラ等の利用も検討すべきだった。 | |
| 3 今後の取組について | |
| ・PTA学力向上部と生徒会文化委員会(図書担当委員会)とが連携して、生徒と保護者が一緒にできる図書イベントを企画する。 ・町の図書館とも連携し、休日等の読書活動の推進を図る。 | |
| 4 要望・その他 | |
| ・特になし。 | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

| | |
|---|-----------------------|
| 単位PTA名 (山鹿市立八幡小学校PTA) | 児童生徒数 (200) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P 50,000円 単P その他 | (支出) 児童用図書購入等 50,000円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| <p>◎活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 読み聞かせボランティア活動 毎週金曜日の朝活動では、PTAを中心とした読み聞かせの活動を行っている。4月に読み聞かせボランティアを募集し、年間計画を立て、輪番制で各教室にて1～3冊の本を準備し、読み聞かせをしている。児童は読み聞かせが大好きで、毎回楽しみにしている。活動後はどんな本を読み聞かせしたのか、児童の反応などを簡単に意見交流し、記録している。 ふれあい読書 ～「ひまわり読書」「コスモス読書」「おすすめの本紹介」の実践～ 長期休業中や読書旬間中に「ひまわり読書」等の読書月間を設けたり、各家庭で一緒に読み、本の感想等を紹介し合う「お薦めの本紹介」を行ったりした。提出されたカードは児童会図書委員会で選出し、掲示している。 ビブリオバトル 3学期には児童会図書委員会主催でビブリオバトルを行い、児童がお薦めの本を1～3分間で紹介して、勝ち抜き戦を行う取組を行った。児童は図書の本への興味関心を一層高め、本の貸し出し数の増加等に繋がった。 その他 その他の取組として、「ノーメディアデーとのタイアップ」「選書の幅を広げるお楽しみ袋」「パネルシアター」「図書だよりの発行」等を継続して行っている。 UDの視点を踏まえた環境の整備 | |
| <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通しての読み聞かせや児童会図書委員会の企画などがあり、読書量が増え、確実に読書が好きな児童が増えてきている。 児童は1年生から6年生まで大変読み聞かせを楽しみにしている。さらに読み聞かせのボランティア活動を充実させていく。 長期休業日の取組や読書月間など設けることで、児童や保護者が意識的に、読書活動に取り組むことができた。 | |
| <p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせに興味を持っている保護者や地域の方に呼びかけて、より多くの方々が気軽に参加できるようにし、ボランティア活動を充実させる。 児童は読み聞かせの時間には熱心に聞いている。一方で読書量には多少個人差が見られる。図書に関する取組を発展させ、一人一人の読書意欲の向上に努めたい。 | |
| 3. 今後の取組みについて | |
| <ul style="list-style-type: none"> 今年度の取組により、一定の成果が見られているが、学校図書の貸出数などの課題も残っている。今後は、本校の取組を継続していくとともに、児童会図書委員会で児童が主体となって計画・運営する取組にも力を入れ、読書量の向上につなげていきたい。 | |
| 4. 要望・その他 | |
| <p>特に要望はありません。本校において貴重な予算となっており、感謝しております。大変お世話になりました。3年後（令和8年度）に本活動に申請するよう申し送り、取組を続けていきたいと思っております。</p> | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

| | | | |
|--|---|-----------------|---|
| 単位PTA名 (山鹿市立菊鹿小学校PTA) | | 児童生徒数 (203) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P 50,000 単P 0 その他 0 <hr style="width: 100%;"/> 50,000 | (支出) | 展示型卓上小型書架 (2台) 38,808 ふれあい読書用図書 (9冊) 11,192 <hr style="width: 100%;"/> 計 50,000 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎ 活動内容 | | | |
| ① 読み聞かせグループ「三つ星座」の活動 ② メディアコントロールチャレンジデー&家読デー ③ 読書月間における「しおり作り」 | | | |
| ◎ 成果 | | | |
| ① 今年度から、保護者だけでなく、地域の有志の方にも協力してもらい、月2回、朝の活動時間に全学年に読み聞かせを行うことができた。子どもたちの心を耕す素敵な時間になった。 | | | |
| ② 本年度は、11月の校内読書月間に合わせ、毎週水曜日メディアコントロールの日に、「家読(うちどく)」にも取り組んだ。家族で読書をする時間を設け、メディアをコントロールすると共に家族が同じ本を読むことで、本をきっかけに会話する時間を増やすことができた。 | | | |
| ③ 地域の方を講師に、読書月間に併せて「しおり作り」を行った。PTA家庭教育部(読書推進部)にも協力してもらい、全児童一人3枚のしおりを作ることができた。児童は、自分で作ったしおりを大切に使い、読書への関心を高めた。 | | | |
| ◎ 反省 | | | |
| 家族で読書をする時間を更に設け、メディアコントロールができるように、「家読(うちどく)」の取組を継続し、その期間を伸ばす必要がある。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| 今後も、読書活動推進のため、地域の方の協力を得ながら、読み聞かせやしおり作りの活動を継続していく。また、メディアコントロールや家庭読書の習慣化のために、家読の取組を継続すると共にその期間を伸ばしていきたい。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| この度は、読書活動推進のため多額の補助金をいただきまして、大変ありがとうございました。読書意欲を掻き立てる展示型の卓上書架の購入費等に充てさせていただきました。今後も有効に活用させていただきます。 | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

単位PTA名 嘉島町立 嘉島中学校PTA (生徒数 308名)

1. 予算執行状況 (収入・支出)

| | | | | |
|------|-----|--------|------|---------------|
| 【収入】 | 県P | 50,000 | 【支出】 | 50,000 |
| | 単P | 0 | | 書籍購入・ラミネーター購入 |
| | その他 | 0 | | |

2. 活動内容・成果・報告

(図書室の現状) 本棚は十分にあるが、重い辞典や昔の本が多い。
窓の側に高い棚がある為、暗く重苦しい。
出入口が一カ所で大きな机と椅子が有り、読書しやすい環境ではない。
図書委員の仕事スペースがせまい。片付け等の為の本棚は無い。



【活動内容】

①利用したくなる図書室作り

窓側の本棚を移動し出入口を2カ所に増やして、自然光の入りやすい環境にした。

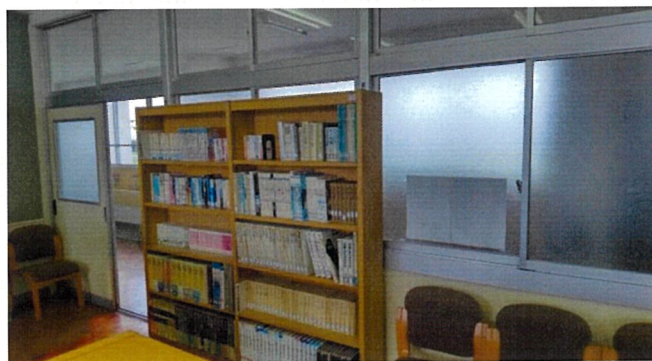
②思わず本を手にとってしまう様な配置作戦

重い辞書や古い書籍を移動し、目につきやすい所に新書を置く様にした。

図書委員がお薦めの本や新書を、ポップでわかりやすく作成。

本棚と本棚の間を空け椅子を設置し、いつでも座って読める環境を作った。

机の配置を変え、勉強等ができる環境に整えた。





③図書委員が整理しやすい環境作り

カウンターの中に整理棚を設置。ラミネーターを使い、本の紹介をするようにした。プリント配布して新図書室のお知らせをした。今後は新書のお知らせ等をしたい。



【成果】

出入口が2カ所となり、立ち寄りやすい図書室になった。また、明るくすごしやすい環境が生徒にも伝わり利用者が増えている。以前は借りたらすぐに帰っていた人も、最後まで残って本を読んでいる。本棚の間に設置した椅子も一人で読書を楽しみたい生徒にも好評だ。また、壁側の机を勉強に利用している生徒も見かけられるようになった。図書委員もカウンターの仕事がやりやすくなった様だ。

【反省】

新書をまとめて購入し、バーコードやポップが追いついていない。

3. 今後の取り組みについて

読書月間などを設け、生徒が本を手に取りやすくなるように工夫をする。
ポップ等の本の紹介等を通して、親しみやすくすごしやすい図書室の継続。

4. 要望・その他

特にありません。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

| | | | |
|---|--|--|--|
| 単位PTA名（ 嘉島町立嘉島西小学校 ） | | 児童生徒数（496）人 | |
| 1. 予算執行状況（収入・支出） | | | |
| （収入） 県P 50,000円 単P 26,940円 その他 70,000円 | | （支出） カウンター代 129,800円 図書室整備代 17,140円 | |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・保護者有志ボランティア「ひだまりの会」による読み聞かせ活動の実施。 ・文化委員による図書室運営及び整備の補助（本の整理、図書室の飾りつけ及び分類版の作成） ・カウンター購入。 | | | |
| ◎成果 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ活動により、児童の読書に対する習慣化及び関心を持たせることが出来た。 ・図書室の整備により、図書室が明るくなり、児童が利用しやすい雰囲気になった。 ・今まで設置してあったカウンターは40年前の物で劣化が酷く、今回の補助金で新しいカウンターを購入し設置。見た目が明るく綺麗になったのはもちろん、カウンターの高さも今までの物より低くしたため、車いすの児童でも利用しやすくなった。 | | | |
| ◎反省 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティア活動への参加者が不足しているため、参加が増えるように啓発活動を実施する必要がある。 ・読書量は、学年差、個人差が大きい。児童の本への興味関心が高まるように、話題の本の準備や、掲示物の工夫など、計画的・継続的な取り組みが必要。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・児童がもっと利用したくなるような図書室整備を今後も継続して行う。 ・他行の取組を参考に今後の活動に生かしていく。 ・読み聞かせ活動により、保護者・地域・学校が一体となって読書活動の推進に努める。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| <p>・中間報告会に参加し他行の取組を知り、とても勉強になりました。これからも、子供たちが本に親しみ読書を楽しめる環境づくりに取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>今年度、ふれあい読書研究会の委嘱を受けたことで、昨年度よりも充実した取り組みをすることが出来ました。本当にありがとうございました。</p> | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

| | | | |
|--|----|--------------------|---------|
| 単位PTA名 (宇土市立網田小学校) | | 児童生徒数 (92) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) 県P | | (支出) おはなし会講師謝礼・交通費 | 25,000円 |
| 単P | 0円 | 書籍購入 | 25,000円 |
| その他 | | | |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 | | | |
| 1 朝の読み聞かせ 6月からの月1回、PTA図書委員会と地域の読み聞かせグループ「オレンジのとびら」による読み聞かせを行った。 | | | |
| 2 親子ふれあい読書 長期休業中の1週間、家庭で期間を決め、親子いっしょに読書をして「ふれあい読書カード」に「おすすめ度」や子ども・保護者の感想を書いて提出し「図書だより」で紹介した。 | | | |
| 3 としょまつり 図書委員児童による昼休みの読み聞かせや、「読書スタンプラリー」を行った。 | | | |
| 4 夜のおはなし会 演劇朗読家として活動しておられる政木ゆかさんをお招きして、「おはなし会」を開催した。オレンジのとびらによるブラックパネルシアター「くもの糸」と、政木さんによる「あらしのよるに」シリーズ3巻の朗読、参加者全員での「雨二モマケズ」の群読というプログラムで行った。 | | | |
|  | | | |
| ◎成果 | | | |
| 熊本地震やコロナ禍により中断していた「おはなし会」(以前は「ピアノとおはなしの世界」)を再開できた成果は大きかった。プロの朗読家の表現によって、聞き手が想像を膨らませながら物語に引き込まれる体験をすることができた。保護者にとっては、声色や間のとり方など、読み聞かせの技法を学ぶこともできた。ブラックパネルシアターも初めて触れる参加者が多く、幻想的な世界に浸ることができた。 | | | |
| 助成金から謝金や交通費に使うことができたため、プロとして活動されている方を講師として招聘することができた。また、高額であるために市の図書費での購入が難しかった大型絵本を購入することができ、保護者や児童による読み聞かせに使用することができた。 | | | |
| ◎反省 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 久しぶりの読み聞かせ実施であったため、本年度は図書委員を中心に輪番制で行ったが、最小限の回数に留まった。今後、図書委員以外のボランティアの募集や、お父さんによる読み聞かせなど、幅を広げていきたい。 ・ おはなし会については、久しぶりの開催であったため運営の経験者がおらず、段取りに苦勞をした。資料のデータ等を引き継ぎ、長く継続していけるようにしたい。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み聞かせ活動をさらに充実させたい。 ・ 学期に1回取り組んでいる「よりよい生活実践週間」(早ね・早おき・朝ごはん、メディアコントロールを推進するための取組)に、家庭での読書習慣をつけるための取組を併せて行っていける工夫したい。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| 中間報告会での資料から、他の学校の取組が分かり、とても参考になった。実施可能なものは取り入れていき、読書活動をさらに活性化させたい。 | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

| | |
|---|-------------------|
| 単位PTA名 (宇城市立小野部田小学校) | 児童生徒数 (102) 人 |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | |
| (収入) 県P 50,000円 単P 122円 その他 0円 | (支出) 本購入費 50,122円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| <p>◎活動内容</p> <p>① ボランティアグループ「スマイル」による読み聞かせ活動 毎月第2木曜日朝 (8:20~8:30) 全学年</p> <p>② 県立小川工業学校高校生による読み聞かせ活動 年間3回 朝 (8:20~8:30) 全学年 小川工業高校の図書委員が選書、練習して読み聞かせを行う。</p> <p>③ ファミリー読書 12月 (冬休み) と2月に「ファミリー読書ウィーク」を設定し、親子読書に取り組む 子どもは「ファミリー読書カード」に記録し、提出する。 その期間は、学校の図書室の一人当たりの貸し出し冊数を増やす。 図書室に「ファミリー読書カード」を提出したら、手作りのしおりをプレゼントしたり「もう一冊券」を発行したりする。</p> | |
| <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度から再開 (10月より) できた。(R2~R4まではコロナの影響で中止) ・今回、購入した本は、読み聞かせで披露し、そのあとは学校の図書室で貸出を実施した。 ・子供たちもボランティアグループまたは、高校生のお兄ちゃんお姉ちゃんが読んでくれた本を自分が借りて再度読むことが嬉しく、その後家族でも本を使って親子読書に取り組んでいた。 | |
| <p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のふれあい読書への申し込みを学校PTAとして把握しておらず申し込みがギリギリになった。今後は、申し込める時期が来ましたら、PTA本部より申し込む体制を構築する。 | |
| 3. 今後の取り組みについて | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・このふれあい読書の取組は小野部田小学校のような小規模校には非常に助かる補助であり、素晴らしい制度だと思われる。今後もフルに活用して、子どもたちがゲームやスポーツだけではなく、読書活動も活発になるように、学校と保護者 (PTA) で協働して取り組んでいきたいと考えていきたい。 | |
| 4. 要望・その他 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・隔年での応募はせつかくの取組が継続しにくい可能性があります。申し込みだけは毎年できるようにしていただきたいです。その際、予算に達しない申し込み数だった場合、規定された年数ではない学校の小規模校から、3年ではない間隔で申し込みをさせて欲しいです。申し込む事が毎年の活動のひとつになれば、読書活動と補助金申請をPTAの活動に入れる事が可能になると思います。ぜひ、ご検討をお願い申し上げます。 | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

| | |
|--|------------------|
| 単位PTA名（上天草市立上小学校PTA） | 児童生徒数（179）人 |
| 1. 予算執行状況（収入・支出） | |
| （収入） 県P 50,000円 単P その他 | （支出） 書籍代 50,000円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | |
| ◎活動内容 ◎上小100冊へのチャレンジ ◎職員による読み聞かせ ◎図書委員会による読書パズルの実施 ◎図書委員会による新本の紹介 ◎図書委員会による読み聞かせ ◎上天草市読書マラソン | |
| ◎成果 ◎上小100冊へのチャレンジ ・昨年度は教師が100冊選んだが、今年度は図書委員会の児童と一緒に本を選んだことで、昨年度よりも読む量が増え、100冊読み終えた児童が増えた。また、図書委員会手作りのしおりを楽しみに励む児童もいた。   ◎職員による読み聞かせ ・職員が各学級を回り、月に2回読み聞かせをした。各職員が本への思いをもって読み聞かせをしているため、子どもたちも楽しみにしている。   ◎図書委員会による読書パズルの実施 ・図書委員会がパズルゲームの進め方を考え実践している。 ◎読書月間に合わせて図書委員会・給食委員会・放送委員会が読書活動を推進 ・物語の動画を電子黒板で流し、給食で物語と関連する食材を使った給食を提供するなどした。 ◎図書委員会による新本の紹介・読み聞かせ | |
| ※昨年度行った「上天草市読書マラソン」は、新しい図書館「本と歴史の交流館イコット」の開館とともに別の取組になったため本年度は行っていない。 | |
| ◎反省 ・上小100冊、読書パズルなどの取組を行っても高学年になるにつれて自主的に図書室に行く児童は減少する傾向にある。 | |
| 3. 今後の取り組みについて ・高学年児童が図書室に自主的に行くためにはどうすればよいかを図書委員会で話し合い、高学年が興味を持ちそうな本を図書室にそろえる計画を立てている。 | |
| 4. 要望・その他 ・特にありません。ありがとうございました。 | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

単位PTA名 (水俣市立湯出小学校PTA)

児童生徒数 (27) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P 50,000円

(支出) 図書購入費 50,000円

2. 活動内容・成果・反省

(1) 読み聞かせ活動

- ・毎週月曜日の朝活動の時間に、読書活動推進員や地域・保護者ボランティアによる読み聞かせを、低中高学年の学級毎で行っている。いろんな方に、毎回様々な本や紙芝居を読んでいただけるのを、子供達はとても楽しみにしており、毎回熱心に聞いている。読み聞かせを聞いた後は、タブレットを使用して、共有フォルダに感想を書き込み、全校で共有している。
- ・給食時には、教頭による読み聞かせを行っており、物語を想像しながら話を聞く子供の姿が見られるようになった。



<ボランティアの方による読み聞かせ>



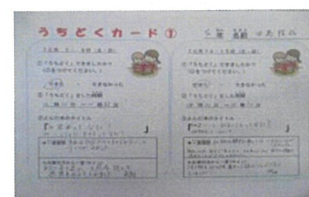
<読み聞かせ感想>



<お話の本紹介コーナー>

(2) うちどく取り組み

- ・読書を通して家庭での交流を深め、心を落ち着けて過ごす時間を持つことを目的として、「うちどく活動」に取り組んだ。「久しぶりに子供と読書する時間が持てて良かった。」などの保護者の感想や、「お互いに読み聞かせをし合えて楽しかった。」など肯定的な感想が出て、効果的な取り組みとなった。



<うちどく活動カード>

(3) 学校図書室の環境整備

- ・教科書関連本コーナー
各学年の教科書に関連した本のコーナーを設置し、授業での並行読書などを行う際に活用している。コーナーにまとめてあるので、子供達が自分で探しやすい活用している。
- ・おすすめ本の紹介
児童による本の紹介をするコーナーで、子供達が紹介ポスターを見て、本を手取る姿も見られた。
- ・季節・行事の本のコーナー
読書活動推進員が、季節・行事の本のコーナーを設置し、10冊ほどの本を取り上げて紹介した。さらに、その中で読んだ本のランキングを表にして掲示した。季節ごとに変わるコーナーは子供達にも好評で、図書室の雰囲気も明るくなった。
- ・個別読書ブース
「静かにゆっくり本を読みたい」という子供の声から、個別の読書ブースを制作した。休み時間などにじっくり読書を楽しむ子供たちの姿が見られている。



<教科書関連本コーナー>



<児童による本の紹介>



<季節・行事の本コーナー>



<個別読書ブース>

※学級図書コーナー

学級にも教材関連図書のコーナーを設置し、授業中の並行読書や調べ学習に利用した。近くに置いてあるので、直ぐに手に取ることができ、積極的に利用する姿が見られた。



<学級図書コーナー>

(4)図書委員会活動

- ・図書室にコーナーを設置し、毎月図書委員会のメンバーが各自のおすすめ本を紹介した。
- ・毎月おすすめ本や人気の本などを紹介する「図書室新聞」をつくり、掲示した。
- ・図書委員会で定期的にテーマを決めて、「たくさん本を読んだで賞」や「シリーズの本を読んだで賞」などを児童集会で表彰した。



<図書委員おすすめ本紹介>



<図書室新聞>



<児童集会での多読賞表彰>

(5)図書館見学旅行

- ・「本や図書館への興味・関心を高めること」や「学校の図書館とは違った雰囲気味わおう」ことを目的とし、昨年度は宇城市立図書館へ、本年度は熊本県立図書館へ行った。



<宇城市立図書館>

(6)卒業制作

- ・水俣高校に協力をお願いして、5・6年生が卒業制作として本棚を製作した。製作した本棚は、児童玄関から入ってすぐの廊下に設置し、読書意欲を高めた。



3. 今後の取り組みについて

助成金のおかげで、図書室のコーナーの設置やいろいろな取り組みを行うことができ、貸し出し冊数が伸びている。今年度本校は、学校図書館活用教育推進校として、水俣市指定の研究発表を行った。研究の仮説の一つを「教育活動全体において、学校図書館等を活用し、読書をする環境を工夫していけば、読書活動が心の支えとなり、豊かな情操を養うことができるであろう。」とした。その取り組みを今後も続けて行く予定である。今年度の活動を更に改善しながら、計画していきたい。

4. 要望・その他

各校の助成金の使い方が、とても参考になりました。「読み聞かせ講座」で利用されている、団体の連絡先や、依頼可能な内容などの一覧があれば、参考にさせて頂きたいと思いました。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

| | | | |
|---|-----------------------------------|-----------------|---|
| 単位PTA名 (芦北町立湯浦小学校PTA) | | 児童生徒数 (159) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P 50,000円 単P 4,040円 その他 なし | (支出) | 大型絵本読み聞かせスタンド 11,550円 ブラックライト 18,720円 ブラックパネルシアター新作(全4話) 23,770円 <hr/> 54,040円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域の読み聞かせボランティアによる、毎月1回(第2木曜朝)の児童への読み聞かせ ・ " ひまわり集会(学習発表会)でのブラックシアター披露 ・PTA家庭教育部による、図書室の環境整備の実施(季節に応じた飾りつけ) | | | |
| ◎成果 | | | |
| <p>・コロナ禍は感染症予防の観点から、地域の読み聞かせボランティアの皆さんによる月1回の読み聞かせが中止になることが度々ありました。読書離れや児童達の読解力の低さは、本校にとっても読書の課題はとても大きいものとなっています。そんな中、今年度は1度も中止することなく毎月の読み聞かせを実施することができ、また4年ぶりに学習発表会でブラックパネルシアターを披露してもらったこともできました。初めてブラックパネルシアターを鑑賞する児童達や保護者からも大変好評でした。</p> | | | |
| ◎反省 | | | |
| <p>・現在活動していただいている読み聞かせサークル「ひまわり」さんは、元はPTAの母親部(現家庭教育部)が始まりで、以前は母親部のP会員が読み聞かせを行っていたようです。時代の変化と共に、共働き世帯も増え、母親部のメンバーで読み聞かせを行うことが困難になり、子どもが卒業した後でも、「地域の子どものために」と集まっていたのが今の読み聞かせサークルの皆さんです。しかし、皆さんのご年齢や体調の面が気になっているところで、この読み聞かせの活動の継続・存続を考慮すると、現役P会員にもこの活動の意義を知ってもらい、地域任せではなく、学校・家庭・地域の連携が少しずつ計れる策はないか考えていきたいと思っております。</p> | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせサークルの皆さんには、定期的に本校の教育活動にご支援いただいていることから、読み聞かせしやすい環境を準備する為に大型絵本読み聞かせスタンドを購入し、大型絵本での読み聞かせの際には是非有効活用していきたいと考えています。また、とても綺麗なブラックパネルシアターの新作については、今後の学校行事でも是非披露していただきたいと思い、購入しました。皆さんは、芦北町総合コミュニティセンターでも定期的に読み聞かせを行っているのです、是非そちらでもかつようしていただき、湯浦小学校だけでなく地域の子どものために、素晴らしい活動を継続していただきたいと思います。 ・子ども達の心の健康のためにも、外部だけでなく各家庭にも読書の大切さを理解してもらえようと呼び掛けを考えていく必要があると思っております。 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| | | | |

ふれあい読書研究会活動報告書

令和5年度

| | | | |
|--|-----|-----------------|--------|
| 単位PTA名 (水上村立水上学園前期課程) | | 児童生徒数 (100) 人 | |
| 1. 予算執行状況 (収入・支出) | | | |
| (収入) | 県P | 50000円 | (支出) |
| | 単P | 0円 | 図書代 |
| | その他 | 0円 | 50000円 |
| | 計 | 50000円 | 計 |
| | | | 50000円 |
| 2. 活動内容・成果・反省 | | | |
| ◎活動内容 | | | |
| (1) 保護者及び地域の方による読み聞かせ (10月から毎週金曜の業間の時間に実施) | | | |
| (2) ファミリー読書 (5月と10月に実施) | | | |
| (3) 教職員による「おすすめの本」の紹介 (5月と10月に実施) | | | |
| (4) 図書委員会の児童による読書旬間の取組 (10月の昼休みに実施) | | | |
| ・読み聞かせ、クイズ、おすすめの本の紹介 | | | |
| ◎成果 | | | |
| ・コロナ禍で昨年度実施することができなかった「保護者及び地域の方による読み聞かせ」を10月から再開し、児童も毎回楽しく聞くことができた。保護者や地域の方も意欲的に協力していただいた。 | | | |
| ・教職員による「おすすめの本」の紹介やファミリー読書については、図書室での掲示や給食時の放送等で発信し、児童の読書意欲を高めることができた。 | | | |
| ◎反省 | | | |
| ・読み聞かせについては、10月から2月まで実施することはできたが、日によっては、2学年合同での読み聞かせや教職員による読み聞かせなど、人数調整が難しかった。共働きの家庭の増加や地域の高齢化で、読み聞かせをしていただく方の人数確保が難しくなっている。 | | | |
| ・図書委員会の取組は、児童の主体性を高めたり、発信力を高めたりする工夫が必要であった。 | | | |
| 3. 今後の取り組みについて | | | |
| (1) 保護者や地域の方による読み聞かせ活動の再開、関係機関と連携した協力者の確保 | | | |
| (2) ふれあい読書に係る各取組の校外への発信 (学校ホームページや村広報の活用) | | | |
| (3) テーマ読書や読書郵便 (おすすめの本を他の友だちに読んでもらう) の実施 | | | |
| 4. 要望・その他 | | | |
| ・ふれあい読書研究会の委託を受けたことで、安心・安全な環境下での読み聞かせ活動の実施、そして、新しい図書の購入による読書環境の充実や読書意欲の向上を図ることができた。心より感謝申し上げます。 | | | |